

最近5年間に判読した脳波検査の5症例の脳波を各症例5ページ以内で提出。  
赤字で示した箇所の明記が必須。

## Patient Information

ID	Pt1 患者IDは削除し本申請用のIDを付与	Date of birth	生年月日は削除
Name	患者氏名は削除	In Out	Out
Sex	女性	Doctor	○× △□
Age	17歳 小児は月例まで記載	Examiner	○× △□
Weight	## kg	Referring Department	◎◎◎ 科
Height	### cm	Examination Date	##年 ##月 ##日
History	症候性前頭葉てんかん		
Comment	<p><u>記録条件</u> 脳波記録時間：70分，自然睡眠</p> <p><u>所見</u> 背景活動：覚醒時の後頭部優位律動は，周波数は10 Hzで開閉眼では開眼時にα波抑制を認め，連続性は良好，振幅変動がみられ，組織化は良好である。過呼吸賦活では，背景脳波のわずかな徐波化を認めたのみである。光刺激では，光駆動も光突発性反応も誘発されなかった。睡眠は，Ⅱ期まで進み，左右対称性の頭蓋頂鋭一過（性），紡錘波，K複合を認めた。 突発性異常：覚醒時・睡眠時ともに，全般性両側同期性3-4Hz棘徐波複合が認められた（1回/3-5分）。 非突発性異常：なし。</p> <p><u>判定</u> 背景脳波は正常で，全般てんかんが示唆される。</p>		

所見には，①背景活動，②突発性異常，③非突発性異常について記載。記載した所見の波形を提示すること。

本紙に相当する表書きを脳波波形（別紙，A4サイズ，1症例5ページ以内）に添付して提出。

Patient IDとページが分かるように記載。

Examiner :

申請者が施行ないしは判読した検査であること。  
申請者の署名と指導医・専門医の署名（直筆）が各症例レポート1枚目に必要。

# 見

# 本

## 医師用 所見レポート (脳波)

個人情報 (名前・生年月日・ID) は消去

5症例には異常所見を含めること。

国際10-20法に基づく電極配置法にて記録された脳波で、フィルタや時定数, スケールが明記された波形を添付。

TC=0.1, HF=60Hz

記録条件を記載 (時定数・フィルタ)

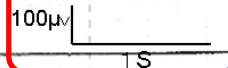
電極名を記載

症例毎に, 2種以上の導出法を含み, 脳波は5枚以内とする。示したい波形に適切なモニター・感度で脳波波形を提示すること。

L字スケール (振幅・時間) は必須。手書きも可。

Patient IDとページが分かるように記載。

所見のあるところを矢印や囲みあるいは文言で示してください。



提示した脳波の所見を下に記載 (全ての脳波波形について)。

全般性両側同期性3-4Hz棘徐波複合

## Patient Information

ID	Pt2	Date of birth	
Name		In Out	Out
Sex	男児	Doctor	○× △□
Age	8歳	Examiner	○× △□
Weight	## kg	Referring Department	◎◎◎ 科
Height	### cm	Examination Date	##年 ##月 ##日
History	中心・側頭部に棘波を示す小児てんかん。		
Comment	<p><u>記録条件</u> 脳波記録時間：60分，トリクロリールシロップ12mlによる誘発睡眠</p> <p><u>所見</u> 背景活動：覚醒時の後頭部優位律動は，周波数は8-9 Hzで開閉眼では開眼時にα波抑制を認め，連続性は良好，振幅変動がみられ，組織化は良好である。過呼吸賦活では，背景脳波の中等度の徐波化を認めた。光刺激では，光駆動も光突発性反応も誘発されなかった。睡眠はⅡ期まで進み，左右対称性の頭蓋頂鋭一過（性）波，紡錘波，K複合を認めた。 突発性異常：入眠とともに右中心側頭部に棘徐波複合が認められた（1回/1秒）。 非突発性異常：なし。</p> <p><u>判定</u> 背景脳波は正常で，右中心・側頭部の焦点性てんかん性（ローランド棘波）の存在からは，中心・側頭部に棘波を示す小児てんかんが示唆される。</p>		

# 見本

## 医師用 所見レポート (脳波)

TC=0.1 HF=70Hz



右中心側頭部の棘徐波 (1回/1秒)



## Patient Information

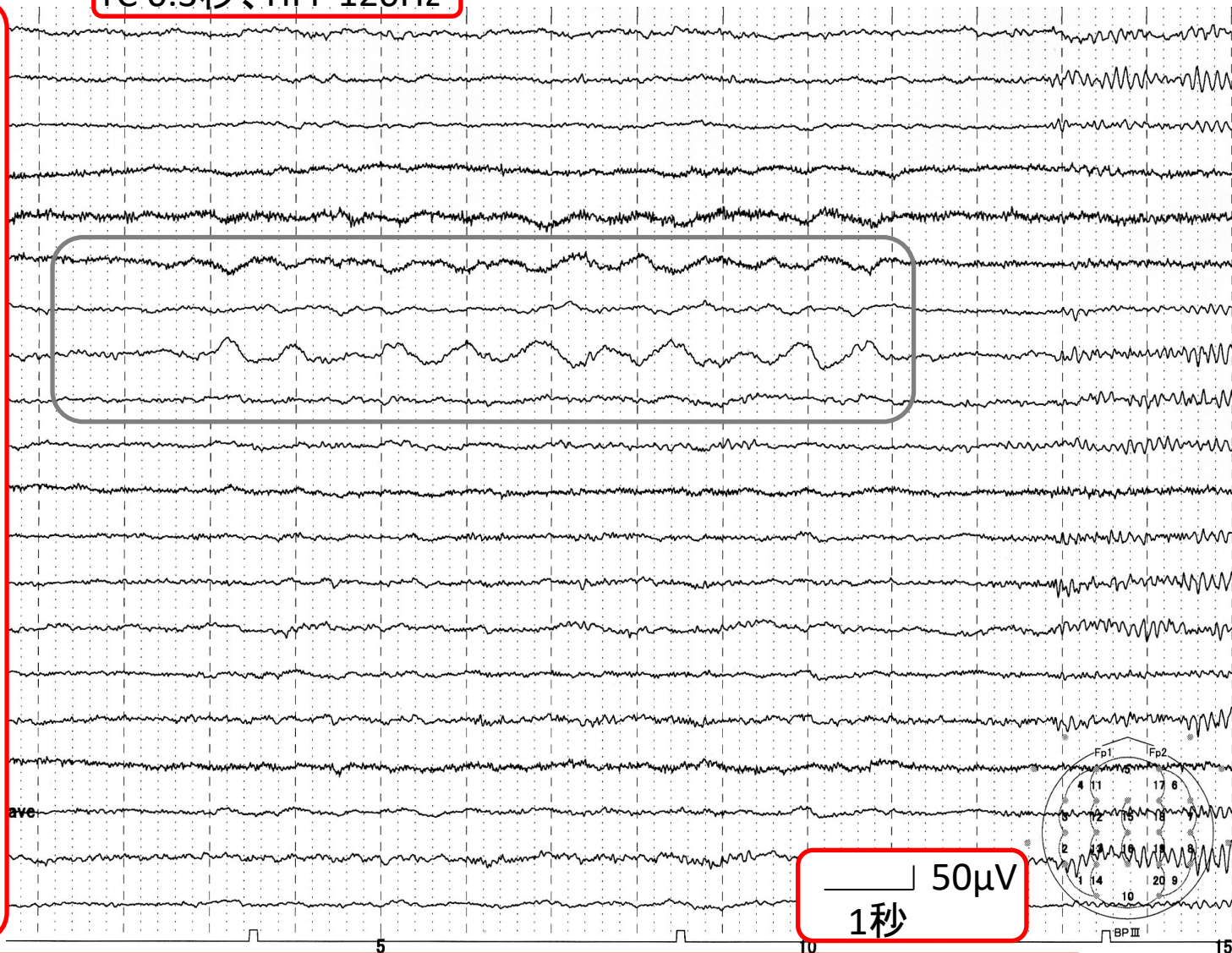
ID	Pt3	Date of birth	
Name		In Out	Out
Sex	女性	Doctor	○× △□
Age	52歳	Examiner	○× △□
Weight	## kg	Referring Department	◎◎◎ 科
Height	### cm	Examination Date	##年 ##月 ##日
History	右側頭葉てんかん		
Comment	<p><u>記録条件</u> 脳波記録時間：30分，自然睡眠</p> <p><u>所見</u> 背景活動：覚醒時の後頭部優位律動は，周波数は10-11 Hzで開閉眼では開眼時に<math>\alpha</math>波抑制を認め，連続性は良好，振幅変動がみられ，組織化は良好である。過呼吸賦活はコロナ禍のため施行せず。光刺激では，光駆動も光突発性反応も誘発されなかった。睡眠はⅡ期まで進み，左右対称性の頭蓋頂鋭一過（性）波，紡錘波を認めた。</p> <p>突発性異常：軽睡眠時にT2F8を最大点とする鋭波を記録中4回程度認めた。</p> <p>非突発性異常：軽睡眠時に右側頭部に間欠性律動性の5-10秒程度続く1-2 Hzの<math>\delta</math>活動（TIRDA）を1回/1-2分認めた。</p> <p><u>判定</u> 背景脳波は正常。軽睡眠時に右側頭部に鋭波とTIRDAを認めた。右側頭葉てんかんに矛盾しない。</p>		

# 見本

## 医師用 所見レポート (脳波)

TC 0.3秒、HFF 120Hz

O1-T5  
T5-T3  
T3-F7  
F7-Fp1  
Fp1-Fp2  
Fp2-F8  
F8-T4  
T4-T6  
T6-O2  
O2-O1  
Fp1-F3  
F3-C3  
C3-P3  
P3-O1  
Fz-Cz  
Cz-Pz  
Fp2-F4  
F4-C4  
C4-P3  
P4-O2



右側頭部に8秒続く間欠性律動性1-2Hzの $\delta$ 活動 (TIRDA)